

令和 5 年度
第 1 回太子町学校教育審議会 会議録

日 時：令和 5 年 7 月 4 日（火）

午後 2 時 30 分～4 時 40 分

場 所：太子町役場行政棟 3 階ホール

第1回太子町学校教育審議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年7月4日（火） 午後2時30分～4時40分
- 2 開催場所 太子町役場行政棟3階ホール
- 3 審議事項 太子町立幼稚園の今後のあり方について
幼稚園スクールバス（タクシー）の運行のあり方について
- 4 出席委員 川村 隆弘 会長 須田 正信 委員 黒田 紀子 委員
井上 悦子 委員 改發 裕子 委員 平野 一雄 委員
富岡 章 委員 水田 光代 委員 小倉 智成 委員
久保田 直也 委員
- 5 欠席委員 多田 義信 委員
- 6 事務局 教育次長 森 文彰 管理課長 改野 学由
管理課係長 小河 祐亮 管理課係長 武中 俊明
太田幼稚園長 會田 利香
- 7 審議経過及び結果 以下のとおり

【審議経過】

1 開会

2 教育長挨拶

3 審議会委員・事務局職員の紹介

小河係長 《審議会委員及び事務局職員の紹介》

4 会長の選任

小河係長 《立候補者なし、事務局一任の提案に異議なしの声》
 《会長に川村 隆弘委員を選任》

5 会長挨拶

6 議事録署名委員の指名

川村会長 《会議録署名委員に黒田委員と平野委員を指名》

7 職務代理者の指名

川村会長 《職務代理者に須田委員を指名》

8 議事

糸井教育長 《教育長より会長へ諮問》
 太子町立幼稚園の今後のあり方について
 幼稚園スクールバス（タクシー）の運行のあり方について（諮問）
 《教育長退室》
 《事務局より詳細説明》

9 審議

川村会長 ただ今の説明に対しまして、何かご質問・ご意見等がございましたら、承りたいと存じます。

須田委員 資料の2ページですが、龍田幼稚園の来年入園の対象者はいますか。

改野課長 対象者はございますが、少ないです。

須田委員 資料の8ページ、本町の認定こども園で1号認定の利用者が95人いますが、幼稚園に行かずにこども園に行くメリットは何でしょうか。

武中係長 どのこども園にしても園舎など施設が整っており、既存の幼稚園と見比べると、やはり幼稚園施設は古いという現状があります。

會田園長 もう一つ、こども園は1号認定をある程度、何名かとらないといけないということがあります。

須田委員 認定こども園は幼稚園と保育所部分を行っているということですね。

會田園長 0歳から2歳は保育を行って、3歳から5歳は幼稚園教育を行うということです。

黒田委員 私は小学校教員でしたので幼稚園の現状をよく知らないのですが、幼稚園での特別な支援を要する園児は増えているのですか。

會田園長 どうしても補助が必要な園児だと、私立・公立に関わらず、その園児のために1人先生を雇わないといけません。そのため、公立に入ってくるお子さんが多くなってきたかなと思っています。特に肢体不自由児の場合、バリアフリーが必要であったり、先生を1人加配しないといけなかったりといった方が増えています。

黒田委員 公立だとバリアフリーなど改築の費用が必要ですね。そのあたりは町で対応してもらっていますか。

會田園長 幼稚園としては対応していただいています。

須田委員 私立は受け入れていないのですか。

會田園長 受け入れているところもあります。ただ、とりわけ肢体不自由児を中心に対応ができないということで受け入れができないということも増えてきているようです。

黒田委員 公立の幼稚園では1人2人の職員の配置が必要となりますが、そのあたりはどうですか。

會田園長 今のところはパート勤務での対応ですが、配置してもらっています。

須田委員 そういった話をしていると公立幼稚園の役割といいますか、意義もはっきりしてくると思いますね。

黒田委員 公立として、1人1人のニーズにあった、手厚い幼児教育が必要となっていくと思います。私立ではできない幼児教育をできるように、保育が成り立つようにしないといけないですね。小学校でも、自分をコントロールできない子が増えており、外に出しまうと困りますので、先生を配置しなければならず、たくさんの人が必要になってきます。

須田委員 例えば、龍田幼稚園を幼稚園が併設されたこども園のようにすればどのようなことが起こりますか。そうすれば、来る人も増えるのではと思いますが。

會田園長 こども園となりますと、0歳から受け入れます。公立幼稚園はその地域にあります。認定こども園は何処から来ても受け皿はできますので、園児が増える可能性もあります。

武中係長 認定こども園化するということは、3歳からではなく0歳から受け入れないといけません。

須田委員 こども園にすれば、1号2号3号に分けて、0歳から5歳まで受け入れられますね。ただし、子どもの取り扱いになるということは考えられます。

會田園長 龍田地区には、はおとの森こども園がありますので、子どもの取り扱いになり共倒れになる可能性もあります。そうすると、先が見えなくなってしまう。

武中係長 こども園になれば、0歳から2歳は給食センターで調理されたものを配送して提供できないため、その園で作らなければならず、調理施設も必要となり施設の規模はとて大きくなります。現行の龍田幼稚園の敷地では増設は難しいと思います。

改野課長 幼稚園はそれぞれ園区があります。龍田園区のこれからの見通しは、対象園児が一桁です。これは今後小学校にも関係します。そういった中で、幼稚園経営は立ち行かないという状況です。今後は町全体で幼稚園教育を考えていき、ゴールとして、施設と人員を集約して行くという方向性を考えていかなければならないのではと思っています。

川村会長 幼稚園とこども園の関係について質問がありましたが、他のご意見ご質問はありますか。

改發委員 公立幼稚園が1クラス5人に満たない場合は、休園の準備を進めると案の中ではありますが、休園の準備を進めながら、幼稚園を希望する未就園児を他の園で受け入れるというところを詳しくお願いします。

改野課長 これは、あくまでも仮定の話ですが、今現在、龍田幼稚園で園児が5名しかいないという状況で、次の年度も入園する見込みがほぼありません。そうすると、幼稚園として成り立たないため、休園にするしか方法はありません。龍田園区で幼稚園に入園したいという子どもがいた場合、町内のどの幼稚園に行っても構わないような形にすれば受け入れることができると思います。

改發委員 龍田に限り、他の園に行くことを認めるということですね。

改野課長 そうなります。他の園区はそのままですが、休園になる園区に限り、そのような特例を設けることが必要になると思います。

改發委員 休園の準備を進めるということは、休園のままずっと維持しておきましょうという考え方でしょうか。いつかは廃園を考えるという休園のやり方ですか。

改野課長 すぐに廃園ということではなく、この幼稚園のあり方というのが、最終的にいつかは集約するということにつながってきます。現状としては休園です。復活する見通しがあるのかと言われますと、難しい問題ではありますが、幼稚園の行く末がまだ定まっておきませんので、現在のところは休園ということで申し上げたところです。

改發委員	休園した園舎をどのように活用していくかは、まだ考えていないということですね。
改野課長	これからの話ということです。
川村会長	休園ということになれば、条例か規則の改正も必要になってきますね。
改野課長	そのとおりです。当然、次年度の園児募集にも影響していくことになります。この時期に皆さんにお集まりいただいたということは、そういう意味があるということです。
井上委員	今まで、幼稚園は地域の方とのつながりが大事として、小学校区に1園あるという形をとっていました。今の龍田幼稚園は5名ですが、小学校や地域の方に協力していただき運動会や資源回収を行って、とてもありがたいということを園長からも聞いております。そういった龍田幼稚園の良さがなくなるということは大変寂しいです。龍田幼稚園は地域があればこそだったのですが。 たとえば、龍田幼稚園の園区ではなくても、龍田幼稚園に行きたいという子どもたちがいれば受け入れ、4園を運営していくという園区はフリーという考え方はないのでしょうか。幼稚園の存続ではなく、教育委員会としては幼稚園を統合して幼稚園機能を維持していくというお考えなののでしょうか。
改野課長	龍田幼稚園を維持するために、他の園区からの受け入れを可能にすると、その他の園が影響を受けることになります。現実問題として、斑鳩幼稚園と石海幼稚園の園児も非常に少なくなっています。 子どもたちは地域に支えられて、小学校・中学校と成長していきます。他の園区から龍田幼稚園に来ても、小学校では地元に戻ることにになります。我々もこれについては熟慮しましたが、そのようなことを考えると、難しいのではと思っております。
須田委員	特別に支援の必要な子どもの受け入れを進めるということは、公立幼稚園の役割として良いことだと思います。あとは、公立の良さを前面に進めて行く方が早いのではないのでしょうか。
改野課長	幼稚園教育に期待をされる保護者の方は一定数いらっしゃいます。民間のこども園を選ばず幼稚園に来られるという方をターゲットに差別化を図る。支援を要する子どもを受け入れることもそうですが、元々幼稚園教育を大事にするという方のニーズに合った公立幼稚園をめざしていけたらと思います。
須田委員	現実として1歳児が201人というのは、公立も私立も関係なく大変な状況ですね。
川村会長	現実的には子どもの数が減ってはいますが、保護者の判断の中で認定こども園を選ばれる方もおられるだろうし、幼稚園教育を求めて来られる方の

受け皿としてきっちりとやっていかなければいけないだろうと思います。
ある程度の方向性は決めていかなければいけないと思います。龍田幼稚園の休園の話が中心になっていますが、幼稚園の機能集約化の検討、3歳児保育の完全実施、一時預かり保育事業の拡充と保育料の見直しなど細かなところは事務局の案で答申していくということによろしいでしょうか。
龍田幼稚園の園児数が0人となってくると、教育という段階ではないですね。休園となれば、他の幼稚園で受け入れる形でやむを得ないということによろしいでしょうか。

次に、3歳児保育の完全実施について、補足はないですか。

これまでは試行であったものを来年度からは完全実施していくということで問題ないでしょうか。

令和6年度から、斑鳩、太田、石海の幼稚園で3歳児保育の完全実施を行うということによろしいでしょうか。

3歳児の発育に適応した施設の整備などは予算の関係もありますので、現場の方と協議し検討していただけたらと思います。

須田委員 一つ伺いたいのですが、令和元年度に保育料の無償化が行われましたが、そのあたりも園児が私立に流れる要因になったのでしょうか。

改野課長 かなり大きな影響があったと思います。

武中係長 平成27年あたりから減少し始め、令和元年度の保育料の無償化で一気に落ち込みました。

改發委員 令和元年度の無償化で、夏休みにはこども園の場合はそのまま保育料は無償ですが、幼稚園だと預かり保育で保育料がかかるということで、長期間預けるのであれば、無償のこども園に預ける方が増えたということです。
保護者の保育料負担軽減との案が出ていますが、具体的にどんな案があるのでしょうか。

改野課長 基本的には、単価を下げるが一番良いと思っています。

川村会長 話の流れで(3)の一時預かり保育事業の拡充と保育料の見直しの話が出ましたので、具体的な制度について説明をお願いしますか。

改野課長 (3)については補助資料をご覧ください。

《事務局より補助資料説明》

黒田委員 太子町は他市町に比べ、若い世帯が多い。子育てにやさしい町ということで、ここにもっとお金をかけるということが必要であると思います。若い世代に「子育てに力を入れている」と思ってもらえるように、また、時間的なことを言うと30分早く8時から預けられたら非常に喜ばれると思います。

須田委員 1月4日の新年交礼会で、町長が子育て支援の関係でプロジェクトチームを作り、子育ての町、太子町にしますと言っておられましたが、この案はその

一環でしょうか。

改野課長
森教育次長

関連するとは思いますが、前々から教育委員会で検討していたことです。
行政改革の中で部会を作っておりまして、来年度以降に子育て関係の窓口を一本化することを検討しております。プロジェクトチームですので、関係課を集めて検討しております。

実際、教育委員会のフロアの中にも社会福祉課の子育て支援室が上がってきていますので、その準備ということで連携してやっております。

川村会長

現実的な案としましては、30 分の早朝保育を導入したり、預かり保育の保育料 1 時間 200 円を 100 円に下げるということについては、非常に良いと思います。これからのプロジェクトに期待したいと思います。

今後の公立幼稚園の方針の中で、(4)の特別支援教育体制の充実に関しても色々な意見が出ました。

人員に関しては、小学校の方でも特別支援に関わる人員を配置していますが、幼稚園の方でも配置していると聞いています。

ハード面についても、予算が関係してきますので、現場と調整しながら検討していただきたいと思います。

今後の公立幼稚園のあり方について、ほかにご意見はありませんか。

改發委員

先ほど、公立幼稚園の良さは何かというご意見がありました。公立幼稚園は幼稚園教育要領に則り教育を行っております。派手なことをしているから子どものために良いという考え方ではなく、遊びや生活を通して人との関わりを育んでいますし、知的な事や身体的なことも全部掲げられていますし、色々なことでスタンダードな教育を進めることによって、行き過ぎたことの無い存在でいないといけないと思います。

太子町の子どもたちが健やかに育つために、こういうところが太子町にあるという一つのモデルになれば良いと思います。幼児教育の研究や小学校との密な連携、特別支援の研究もしております。また、様々な子育て支援も行い、保護者同士の交流の場でもあります。地域の中での子どもを地域の子どものとして育てるという園区もありますので、公立幼稚園としての機能的な役割の項目が一つあれば良いと思いますが、いかがでしょうか。

改野課長
須田委員

検討させていただきたいと思います。

公立幼稚園の役割や責任の再構築を考えていかなければいけません。

公立幼稚園にいかにか人を集めるかということではなく、公立幼稚園の存在意義を再認識し再構築していくということですね。

黒田委員

最近の子どもは、ゲームをすることが多いため、握る、指で押さえるといった指先の機能が大変衰えています。公立の幼稚園では、折り紙など指先を使った基本的な学習を日常的にしていると思います。そういうことが子ども

にとって大変大事ということも書いていただければよいかと思います。

川村会長 大変強い要望ですね。貴重なご意見です。

それでは、幼稚園のあり方についてはこれらの意見を反映させていただければと思います。

続きまして、幼稚園スクールバス（タクシー）の運航のあり方について、事務局より説明をお願いします。

《事務局より詳細説明》

川村会長 翌年度以降の通園支援の継続か廃止かということで、何かご意見、ご質問はありますか。

井上委員 タクシー利用圏より遠くに住む園児との不均衡とはどういうことですか。

改野課長 これは、先ほどの議論と関係があります。龍田園区に住む未就園児が、龍田幼稚園が休園になった場合、斑鳩、石海、太田から選択することになるのですが、例えば、広坂に住んでいる方が石海幼稚園に通われる場合、その地区よりも遠くなります。

川村会長 過去の経緯を見ましたら、太田東幼稚園と石海南幼稚園が無くなった際に、スクールバスを出したということがあり、それ以降人数が減少したからバスからタクシーに変わったという経緯があります。

須田委員 その当時は人数が多かったから大きなバスを出したが、地元との話し合いがどういったものになるかで変わってくると思います。

改發委員 太田東幼稚園が西幼稚園と統合した際に、太田東幼稚園はバスを出しますという条件で閉園になったということもあります。

今回も、龍田幼稚園が休園になって、幼稚園を希望する子が周りの園からはみ出ることになって、緊急にスクールバスで対応できるかどうか。予算のことでもありますので。

川村会長 例えば事業を組む際、1人の子に対してタクシーを毎日使うのは、果たしてどうなのかと思います。その子にとっては、幼稚園教育を受けるということで、非常に効果があることですので当然そういう配慮をすべきだと思いますが、予算的にみて1人の子のために高額な予算をつけるということも考える必要があるのではと思います。

須田委員 太子町に住んでいて幼稚園教育を受けたいという人がいれば、それを支援していくことは当然のことです。3人であれば良くて1人なら駄目であるという切り方はできないので、基本的にはどう考えるのかということだと思います。

改發委員 もしこれから先、人数がもっと減少し2園ということになれば、今回の話が延長していくわけですね。

改野課長 2園という以前に、集約化という話になると思います。

改發委員	1 園になるとしても、他が廃園になります。スクールバスは運行してくれるのかという話が続きますよね。
改野課長	ただ昔とは、モータリゼーションの面で違いますので。
須田委員	1.5 キロというのは、原則徒歩で来る範囲ですね。理想を言えば、家族と一緒に登園するということも大事なことです。何も幼稚園に行くことだけが教育ではないので。
川村会長	幼児教育を保障することも大事です。車があるのならそれもありかと思う。ご意見がありましたら、お願いします。
黒田委員	私が子どもの頃は当番制もありましたが、今はそれぞれ家庭それぞれで行っています。昔であれば車が一家に 1 台だったかもしれませんが、今は状況が変わっているので、そのあたりは各家庭で送って行けばいいのではないかと思います。
川村会長	他にご意見はありますか。皆さんお伺いしたいのですが。
小倉委員	各家庭で送って行けば良いのではと思います。
久保田委員	同じです。廃止で良いと思います。
富岡委員	1.5 キロであるとか、その辺りをもう少し考えても良いのではないかなとも思います。
水田委員	私も先ほどから言われている通り、各家庭でそれぞれで送っていると聞いて驚いています。もっと以前はグループではなく各家庭が自転車などで送っていましたよね。1 人のお子さんに対してタクシーというのは論外かなと思います。
川村会長	公平性を保つために 1.5 キロを決めたということがありましたので、タクシーの話が出たという経緯はあります。
水田委員	別に歩いていけないこともないですし、各自で送迎してくださるのが良いと思います。
平野委員	1 人だけです。2〜3 年すれば 0 人になるかもしれない。年間 100 万円ですか。先ほどの話で、もし、龍田幼稚園の子がほかの園区に行くためにタクシーが必要となると、ルートが違いますからね、費用がいくらになるのかと。原池も距離はあるかもしれませんが、もう今は家庭それぞれで行くべきではないかと思います。
改發委員	気持ちとしては幼稚園教育に誰もがというのがあるのですが、現実として職員にも負担がかかっていますし、予算があるのであれば預かり保育料の見直しに使っていただきたいと思います。
井上委員	時代の流れがありますので、廃止の方向で良いと思います。
川村会長	前回の答申で未就学園児を保障することが根本的にはありますが、実情を鑑みて廃止ということではよろしいでしょうか。

須田委員 園則に徒歩通園は謳っていますか。
會田園長 原則は徒歩通園です。望ましいということです。
須田委員 タクシー送迎の対象者が 1 人だから廃止ということではなく、龍田幼稚園のことや幼稚園の徒歩通園の見直しを含めて、結論を出す必要があります。そのところは大事にしておかないと。本審議会としての責任が果たせないですからね。

川村会長 答申の内容としましては、審議会としては廃止ということにしたいと思います。異議はありませんか。
ご異議がないようですので、諮問「太子町立幼稚園の今後のあり方について」及び「幼稚園スクールバスの運行のあり方について」を事務局でまとめたただけですか。
ここで、諮問事項について答申案作成の間、暫時休憩します。

《暫時休憩・答申案作成・委員配付》

川村会長 会議を再開します。
諮問「太子町立幼稚園の今後のあり方について」、先程の審議結果に基づき作成した答申案をお配りします。
事務局で答申案を朗読してください。

改野課長 《答申内容朗読》

川村会長 ありがとうございます。それでは委員の皆様、しっかり読んでいただいて、ご意見をお願いします。

須田委員 令和 6 年度以降はどうなりますか。最終答申ということですか。
改野課長 今回仮に廃止になった場合は、最終の答申となります。
須田委員 そうのことですね。
川村会長 ご意見はありませんか。
改野課長 すみません、事務局から修正です。「各家庭の多様な送迎手段を認めるなど」に修正したいと思います。

川村会長 ありがとうございます。
それではご意見がないようですので、本案を答申書とし教育長に答申したいと思います。事務局は準備をお願いします。
《答申書押印・教育長入室》

10 答申

川村会長 それでは、諮問「太子町立幼稚園の今後のあり方について」及び「幼稚園スクールバス（タクシー）の運行のあり方について」、答申します。

令和5年7月4日、太子町教育委員会 様

太子町学校教育審議会会長 川村 隆弘

「太子町立幼稚園の今後のあり方」等について（答申）

令和5年7月4日付、太教管理第416号で諮問のあった「太子町立幼稚園の今後のあり方」及び「幼稚園スクールバス（タクシー）の運行のあり方」について、下記のとおり答申します。

記、1. 教育委員会策定の「太子町立幼稚園の今後のあり方（案）」の実現に向けて、最善をつくすこと。とりわけ、その中の「4 今後の公立幼稚園の方針について」の具現化に向けて、早急に対策を講ずること。なお、公立幼稚園としての良さや存在意義を再確認し、今後の公立幼稚園の方針に加えること。

2. 「幼稚園スクールバス（タクシー）の運行のあり方」については、各家庭の送迎の実態を鑑み、令和5年度末をもって廃止することが望ましいと考える。徒歩通園推奨の見直しを含め、各家庭の多様な送迎手段を認めるなど、保護者や地域の方々の理解と協力を得ることに努めること。以上。

《教育長へ答申書手渡し》

糸井教育長 長時間にわたる審議をいただき、貴重なご意見をいただきましてお礼を申し上げます。今後皆様からいただきましたご意見を基に定例教育委員会にも上程し協議をしてみたいと思います。ありがとうございました。

川村会長 本日の審議事項は以上ですが、ほかにご意見、ご質問等はございませんか。ご意見がないようですので、議事を終了し本日の会議を終了したいと思います。すがよろしいでしょうか。事務局から連絡事項はありますか。

小河係長 《報酬について事務連絡》

11 閉会

川村会長 本日は慎重なるご審議をいただきありがとうございました。

事務局におかれましては、本日の会議結果に基づいて、適切な事務・事業の執行をお願いしたいと思います。

また、委員の皆様におかれましては、円滑な審議会運営にご協力いただきありがとうございます。

それでは、これをもちまして、令和5年度第1回学校教育審議会を閉会いたします。

改野課長 川村会長、どうもありがとうございました。

委員の皆様のおかげをもちまして、本日予定しておりました案件は、全て終了いたしました。ありがとうございました。

太子町学校教育審議会規則第4条に基づきここに署名する。

令和 5 年 8 月 15 日

署名委員

黒田 紀子

平野 一雄